

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	検疫業務等に必要な事業		担当部局庁	医薬食品局食品安全部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成11年度		担当課室	企画情報課検疫所業務管理室		坂本 浩享		
会計区分	一般会計		施策名	IV-4-1 食品等の安全性を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	検疫法第14条、第26条等		関係する計画、通知等	IHR(国際保健規則) 新型インフルエンザ対策行動計画 等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国内に常在しない感染症の病原体が船舶又は航空機を介して国内に侵入することを防止するとともに、船舶又は航空機に関してその他の感染症の予防に必要な措置を講ずることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国に常在しない感染症の病原体が、船舶又は航空機を介して国内に侵入することを防止するため、検疫法に基づき、外国から来航した船舶、航空機及びその乗組員、乗客に対して病原体の有無に関する調査や診察などを行うとともに、患者を発見した場合には、隔離、停留及び消毒等の措置を講じる一連の業務及び港湾・空港区域の衛生措置を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	447	687	841	713	678	
		補正予算	832					
		繰越し等	△ 696	1,097	△ 7	7		
		計	583	1,784	834	720	678	
	執行額	568	1,717	787				
	執行率(%)	99	96	94				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	全入国者が検疫対象者であるため定量的な成果目標は設けていない。		成果実績	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	平成22年度末現在 組織:110カ所(13本所、14支所、83出張所) 人員(検疫衛生部門):373名 検疫実績:3,085万人(平成21年)		活動実績 (当初見込み)	万人	3,207【年次】	3,085【年次】	調査中	-
							-	-
単位当たりコスト	26円 (入国者1人あたりの検疫コスト)		算出根拠	単位あたりコスト(入国者1人あたりの検疫コスト)=X/Y X:22年度執行額(787百万円) Y:22年検疫対象者数(3,085万人)(21年実績を仮置き)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	検疫庁費	413	403	業務用自動車購入費等の増				
	土地建物借料	133	160	関西国際空港検疫所LCCターミナル開設に伴う建物借料の増				
	情報処理業務庁費	96	42	統合ネットワーク回線経費の減				
	検疫旅費	30	34					
	通信専用料	11	11					
	船舶運航費	11	9					
	その他検疫に必要な経費	19	19					
計	713	678						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	海外における新たな感染症により、国民の健康保持が脅かされる事態を水際で最大限防止するための制度であり重要である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の一部に随意契約があるため
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	国内に常在しない感染症の病原体が国内に侵入することを防止する機関は検疫所以外にはない。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>予算の執行にあたっては、厚生労働本省における公共調達委員会や各検疫所が実施する公共調達審査会を開催し、契約方法や調達数量の妥当性、適正性等を審査・検証している。</p> <p>また、各検疫所毎で調達している備品・消耗品類について、一括購入が可能なものについては、代表する検疫所において一括購入を行うこと等により、一層の経費の縮減を図っていきたい。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>検疫業務等に必要な事業について、恒常的に多額の不用が生じているわけではないが、執行実態を精査のうえ効率化を図ること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>システム関係経費の見直しによる削減を行う他、検疫艇の計画的な削減等を反映した概算要求を行った。 (反映額: ▲35百万円)</p>		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

厚生労働本省
663百万円

【一般競争入札】

【随意契約】

検疫所(13ヶ所)

①小樽検疫所	33百万円
②仙台検疫所	28百万円
③成田空港検疫所	53百万円
④東京検疫所	46百万円
⑤横浜検疫所	13百万円
⑥新潟検疫所	22百万円
⑦名古屋検疫所	55百万円
⑧大阪検疫所	12百万円
⑨関西空港検疫所	77百万円←
⑩神戸検疫所	19百万円
⑪広島検疫所	30百万円
⑫福岡検疫所	51百万円
⑬那覇検疫所	21百万円

460百万円

A シスコシステムズ
キャピタル(株)
2社 183百万円

[検疫に必要な役務の提供等]

B NACCSセンター(株)
4社 20百万円

[検疫に必要な役務の提供等]

関西空港検疫所

【一般競争入札】

【随意契約】

【随意契約】

C NECフィールディング(株)
5社 9百万円

[検疫に必要な備品の購入等]

D 八洲薬品(株)
46社 23百万円

[検疫に必要な消耗品の購入等]

E 関西国際空港
株式会社
28社 45百万円

[合同庁舎入居に必要な土地の借料等]

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.シスコシステムズキャピタル			E.関西空港(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	厚生労働省統合ネットワーク~供給等業務(空港検疫業務システム編)	96	土地建物借料	合同庁舎土地建物借料	44
計		96	計		44
B.NACCSセンター(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	平成22年度NACCS(港湾サブシステム)利用料金	18			
計		18	計		0
C.NECフィールディング(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
備品費	業務用PC購入	4			
計		4	計		0
D.八洲薬品(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	検疫業務用検査試薬購入	3			
計		3	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	シスコシステムズキャピタル(株)	厚生労働省統合ネットワーク~供給等業務(空港検疫業務システム編)	96	1	95.47
2	東芝ソリューション(株)	平成22年度健康監視システム運用・保守業務一式	65	1	99.94
3	東芝ソリューション(株)	健康監視システム機能強化改修	22	1	99.23
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NACCSセンター(株)	平成22年度NACCS(港湾サブシステム)利用	15	随意契約	
2	NACCSセンター(株)	平成22年度府省共通ポータル(空港検疫システム)利用	3	随意契約	
3	大和総合印刷(株)	明告書(船舶用)等	0	随意契約	
4	大和総合印刷(株)	明告書(船舶用)等	0	随意契約	
5	独立行政法人国立印刷局	官報掲載	0	随意契約	
6	独立行政法人国立印刷局	官報掲載	0	随意契約	
7	協新流通デベロッパ(株)	梱包・発送一式「輸入食品検査業務に係る業務用紙 明告書(船舶用)」等	0	随意契約	
8	NACCSセンター(株)	平成22年度府省共通ポータル(港湾サブシステム)利用	0	随意契約	
9	独立行政法人国立印刷局	官報掲載	0	随意契約	
10	独立行政法人国立印刷局	官報掲載	0	随意契約	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NECフィールドディング株式会社	業務用パーソナルコンピューター購入	4	5	60
2	竹内化学株式会社	検疫業務用消耗品購入費	2	3	80
3	株式会社関薬	ロシュ・ダイアグノスティックス製リアルタイムPCRシステムに係る定期検査の実施	1	3	100
4	株式会社イノウエ商事	事務用消耗品購入費	1	3	90
5	株式会社クエストメディカルサービス	自動体外式除細動器購入費	1	3	100
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	関西国際空港株式会社	空港情報(フライトスケジュール)提供	3	随意契約	
2	株式会社関薬	業務用冷蔵庫購入費	1	随意契約	
3	ナンスイ工業株式会社	検疫排水処理施設保守管理料	1	随意契約	
4	リコージャパン株式会社	日本語ワードプロセッサソフト購入費	1	随意契約	
5	株式会社ダルトンメンテナンス	BSL3検査室に係る定期検査	1	随意契約	
6	コニカミルタビジネスソリューションズ株式会社	コピーキット購入費	1	随意契約	
7	松本寝具株式会社	寝具賃貸借等	1	随意契約	
8	FAエンジニア株式会社	電子看板購入費	1	随意契約	
9	株式会社関薬	インキュベータ購入費	1	随意契約	
10	有限会社長常	ベルトパーテーション購入費	1	随意契約	

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	関西国際空港株式会社	平成22年度 土地賃貸借料(地方合庁)	19	随意契約	
2	関西国際空港株式会社	平成22年度 土地賃貸借料(CIQ合庁)	17	随意契約	
3	関西国際空港株式会社	平成22年度 土地賃貸借料(PTB)	9	随意契約	
4	関西国際空港情報通信ネットワーク株式会社	4月分FORTHシステム通信料	0	随意契約	
5	職員A	検疫業務に係る旅費	0	随意契約	
6	職員B	検疫業務に係る旅費	0	随意契約	
7	職員C	検疫業務に係る旅費	0	随意契約	
8	職員D	検疫業務に係る旅費	0	随意契約	
9	職員E	検疫業務に係る旅費	0	随意契約	
10	職員F	検疫業務に係る旅費	0	随意契約	